

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

小中学校では、運動会や体育祭も終わり、朝読書や読み聞かせ等をしているというお話がちらほら聞こえてくる時期となりました。

先日、当センターで、様々な場所で読書に携わる方々対象の「読書ボランティア研修会」が行われました。講演の講師に、子どもから大人まで幅広い年齢の読者に大人気の絵本作家・宮西達也さんをお迎えしました。講演の中には、宮西さんの絵本の紹介や読み聞かせの場面がたくさんありました。

読み聞かせすることについて、宮西さんはこう話していました。

- ・読み手が好きな（感動する、楽しいと思える）本を読んであげる。
- ・その本で伝えたいこと、テーマをつかんで読んであげる。

ことで、読み手の感性が聞き手に伝わる。

感動をいっぱい味わうと、感性豊かな、心豊かな人になる。やさしさ、思いやりのある人になる。

宮西さんから紹介された絵本の中で、私の心に響いたお話は、『おかあさんだいすきだよ』という絵本でした。「絵本ナビ」というサイトでは、このように紹介されています。

～おかあさんね あなたが ずっと ずっと ずーっと だいすきだよ。 ぼくはお母さんが大好きだけど、お母さんは「早くしなさい」「ぐずぐずしないで」「何回言えばわかるの」って、ぼくをしかってばかり。優しくしてくれたら、もっと好きなのに。子どもの気持ちに寄り添った子育て応援絵本～ ※スペシャル対談もご覧いただけます。

●絵本ナビ

https://www.ehonnabi.net/specialcontents/contents_old.asp?id=105

子どものことを思って言うてしまう言葉は、ついつい、ネガティブになってしまいがちですが、それを子どもの視点でこう言ってくれたらということにハッとさせられます。

我が家では、子どもが高校生に成長した今も同様のことを言うてしまう自分に、これは子どものためなのか、自分のためなのかわからなくなることがよくあります。そして、言っても動かない娘にイライラすることもしばしば…(-_-;)。

宮西さんのお話の中の「人は言葉では動かない 人は心を動かされること（感動）で動く」という言葉と「おかあさんだいすきだよ」のお話がリンクし、ドキッとしました。私は、言葉だけで娘を動かそうとしていたのだと思いました。小さいころとはまた違う視点で、親のことを見ているであろう娘へかける言葉について考える一日でした。

宮西さんが、大人にも人気な理由がよくわかりました。

SNS等での子育て情報も多い時代ですが、紙をめくって得られるアナログな情報もおすすめです。

絵は動きませんが、心が動きます(*^^*)

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★